

14時30分解禁

平成19年4月 全国百貨店売上高概況

平成19年5月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	5,985億円余
2. 前年同月比	-1.3% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	94社 276店 (平成19年3月対比1社2店マイナス)
4. 総店舗面積	6,761,429㎡ (前年同月比:-1.4%)
5. 総従業員数	92,613人 (前年同月比:4.1%)
6. 3か月移動平均値	9-11月 -0.4%、10-12月 -1.5%、11-1月 -1.0%、 12-2月 -0.6%、1-3月 -0.1%、2-4月 -0.5%

[参考] 平成18年4月の売上高増減率は-0.6% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

2か月連続のマイナスだが、減少幅は3月の-1.5%から0.2ポイント改善している。地区別の特徴としては、寒気の影響を強く受けた北日本で、衣料品を中心に春物商材が動かず、他地区に比べて減少幅が大きかった。西日本各地では改善傾向を示している。

また、最近の円安傾向が、これまで好調を維持してきた海外高級ブランド商材の動きに、若干マイナスの影響を与えている状況もある。

なお、今春は例年以上に大規模改装が実施されているが、4月段階では未だ工事中店舗もあって、その完全な効果は5月以降に持ち越される。しかし、オープンした店舗では売場構成の見直しや新規ブランドの投入効果もあって売上を伸ばしている。特に改装効果が顕著に表れた京都・広島では、ほぼ全店舗でプラスを記録した。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 低気圧や前線が頻繁に通過し、短い周期で天気が変わった。低気圧や前線の通過後には寒気が入ったため、月平均気温は北日本、南西諸島を中心に低かった。また、北日本、南西諸島では日照時間も少なかった。一方、全国的には降水量は少なかった。

(2) 営業日数増減 29.9日 (前年同月比±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (")

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 33店、②変化なし: 43店、③減少した: 71店、④不明: 44店

(5) 4月歳時記 (春物商戦) の売上 (同上)

①増加した: 7店、②変化なし: 72店、③減少した: 28店、④不明: 84店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 21店、②変化なし: 99店、③減少する: 17店、④不明: 54店

全国百貨店 売上高速報 2007年04月

第1表 地区別売上高

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	※店舗数調整後 ()が調整前
			対前年増減(-)率 (%)
全 国	598,591,653	100.0	-1.3 (-1.9)
10都市	384,918,317	64.3	-1.0 (-1.6)
札幌	15,578,501	2.6	-4.4
仙台	7,925,080	1.3	-2.2
東京	149,418,440	25.0	-1.5
横浜	32,537,500	5.4	-1.4
名古屋	35,585,849	5.9	-0.3
京都	23,261,187	3.9	3.4 (-3.3)
大阪	75,893,946	12.7	-0.8
神戸	16,757,262	2.8	0.3
広島	12,810,631	2.1	0.6
福岡	15,149,921	2.5	-2.6 (-8.1)
10都市以外の地区	213,673,336	35.7	-2.0 (-2.4)
北海道	4,756,987	0.8	-6.1 (-13.8)
東北	12,189,963	2.0	-5.6
関東	100,027,637	16.7	-1.5
中部	16,867,740	2.8	-1.8 (-4.7)
近畿	19,282,966	3.2	-2.7
中国	14,947,079	2.5	-0.8
四国	11,851,633	2.0	-0.3
九州	33,749,331	5.6	-1.9

第2表 商品別売上高

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
			※
総 額	598,591,653	100.0	-1.3 (-1.9)
紳士服・洋品	46,440,504	7.8	-0.7 (-1.0)
婦人服・洋品	156,161,698	26.1	-2.5 (-3.1)
子供服・洋品	19,433,843	3.2	-2.2 (-2.6)
その他衣料品	16,754,359	2.8	-4.2 (-4.7)
衣 料 品	238,790,404	39.9	-2.3 (-2.8)
身のまわり品	80,149,129	13.4	-1.2 (-1.5)
化粧品	27,867,716	4.7	3.2 (2.9)
美術・宝飾・貴金属	31,886,986	5.3	-4.9 (-5.2)
その他雑貨	29,852,958	5.0	-2.4 (-4.0)
雑 貨	89,607,660	15.0	-1.7 (-2.4)
家 具	10,529,924	1.8	-5.3 (-5.8)
家 電	2,139,590	0.4	-11.6 (-11.6)
その他家庭用品	20,848,160	3.5	-1.6 (-2.5)
家 庭 用 品	33,517,674	5.6	-3.5 (-4.2)
生 鮮 食 品	28,013,694	4.7	-0.2 (-1.0)
菓 子	31,083,811	5.2	2.3 (1.7)
惣 菜	30,429,527	5.1	0.1 (-0.5)
その他食料品	35,281,488	5.9	0.6 (0.1)
食 料 品	124,808,520	20.9	0.7 (0.1)
食 堂 喫 茶	16,063,874	2.7	-0.6 (-1.3)
サ ー ビ ス	6,311,156	1.1	0.2 (-0.1)
そ の 他	9,343,236	1.6	4.2 (3.0)
商 品 券	22,621,626	3.8	-2.7 (-2.9)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は総額に対する比率です。

○本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | - 1.0% (店舗数調整後 / 2か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 2.0% (" / 2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	- 1.0	- 0.6	2か月連続マイナス
札幌	- 4.4	- 0.1	2か月連続マイナス
仙台	- 2.2	0.0	2か月連続マイナス
東京	- 1.5	- 0.4	7か月連続マイナス
横浜	- 1.4	- 0.1	2か月連続マイナス
名古屋	- 0.3	0.0	2か月連続マイナス
京都	3.4	0.1	6か月連続プラス
大阪	- 0.8	- 0.1	2か月連続マイナス
神戸	0.3	0.0	2か月ぶりプラス
広島	0.6	0.0	2か月ぶりプラス
福岡	- 2.6	- 0.1	4か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	- 2.0	- 0.7	2か月連続マイナス
北海道	- 6.1	- 0.1	4か月連続マイナス*
東北	- 5.6	- 0.1	4か月連続マイナス*
関東	- 1.5	- 0.3	2か月連続マイナス
中部	- 1.8	- 0.1	2か月連続マイナス
近畿	- 2.7	- 0.1	8か月連続マイナス
中国	- 0.8	0.0	4か月連続マイナス*
四国	- 0.3	0.0	2か月連続マイナス
九州	- 1.9	- 0.1	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品、マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。
なお、化粧品・菓子は前年比較を開始した1月以降4か月連続プラス。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.3	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-0.7	-0.1	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.5	-0.7	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.2	-0.1	7か月連続マイナス
その他衣料品	-4.2	-0.1	67か月連続マイナス
衣料品	-2.3	-0.9	2か月連続マイナス
身のまわり品	-1.2	-0.2	2か月連続マイナス
化粧品	3.2	0.1	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-4.9	-0.3	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.4	-0.1	4か月連続マイナス*
雑貨	-1.7	-0.3	2か月連続マイナス
家具	-5.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
家電	-11.6	0.0	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-1.6	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	-3.5	-0.2	2か月連続マイナス
生鮮食品	-0.2	0.0	4か月連続マイナス*
菓子	2.3	0.1	4か月連続プラス*
惣菜	0.1	0.0	2か月連続プラス*
その他食料品	0.6	0.0	3か月連続プラス*
食料品	0.7	0.1	4か月連続プラス
食堂喫茶	-0.6	0.0	2か月連続マイナス
サービス	0.2	0.0	14か月連続プラス
その他	4.2	0.1	2か月ぶりプラス
商品券	-2.7	-0.1	65か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品に
ついての推移は2006年1月から細分化したため、2007年の4か月のみの推移

平成19年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成19年5月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,494億円余
2. 前年同月比	-1.5% (店舗数調整後/7か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭-0.7% (86.4%) : 非店頭-6.6% (13.6%) () 内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成19年2月対比±0社0店)
5. 総売場面積	961,158㎡ (前年同月比: 0.8%)
6. 総従業員数	17,707人 (前年同月比: 0.9%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 -0.1%、10-12月 -1.8%、11-1月 -1.5%、 12-2月 -1.4%、1-3月 -0.9%、2-4月 -1.5%

[参考] 平成18年4月の売上高増減率は-0.5% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

- (1) 4月終盤の気温上昇に伴って、半袖シャツ、帽子、サングラス等の夏物商材に活発な動きがみられたものの、中旬の天候不順による不振をカバーしきれなかった。また、全般的に外販が不調で売上を押し下げる要因となった。
- (2) 商品別には、カジュアルウェアが好調の紳士服やGWを控えた季節需要で旅行用品などがプラスだった。中でも、今期各店でリニューアルを実施した和洋菓子売場は、市場の注目度が高いこともあって大きく売上を伸ばしている。
- (3) 一方、婦人服では、最近の基調としてワンピースに需要が集中しているため、ジャケットやボトムス（スカート、スラックス）の不振が続いている。
- (4) 今年のGWは、各店催事に力を入れたことと併せ、暦の関係で連休が前半と後半に分かれたため、4月終盤の連休前半は、遠出よりも新型商業施設のオープン等で活況に沸いた都心部での時間消費に人気が集まり、百貨店の来店客数も伸びを見せている。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 7店、②変化なし: 8店、③減少した: 5店、④不明: 2店
- (3) 4月歳時記 (春物商戦) の売上 (同上)
 - ①増加した: 0店、②変化なし: 7店、③減少した: 1店、④不明: 14店
- (4) 翌月上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 2店、②変化なし: 15店、③減少する: 1店、④不明: 4店

東京地区百貨店 売上高速報 2007年04月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	149,418,440	100.0	-1.5
紳士服・洋品	13,018,245	8.7	1.0
婦人服・洋品	37,553,843	25.1	-3.3
子供服・洋品	3,307,339	2.2	3.9
その他衣料品	3,555,827	2.4	-3.0
衣 料 品	57,435,254	38.4	-1.9
身のまわり品	21,656,027	14.5	-0.1
化粧品	7,177,928	4.8	5.9
美術・宝飾・貴金属	9,012,611	6.0	-14.4
その他雑貨	8,797,954	5.9	-2.8
雑 貨	24,988,493	16.7	-5.2
家 具	3,224,282	2.2	4.8
家 電	779,326	0.5	-9.0
その他家庭用品	5,589,273	3.7	-1.5
家 庭 用 品	9,592,881	6.4	-0.2
生 鮮 食 品	4,361,456	2.9	-0.3
菓 子	7,206,974	4.8	4.7
惣 菜	6,975,644	4.7	-0.1
その他食料品	9,028,721	6.0	3.9
食 料 品	27,572,795	18.5	2.4
食 堂 喫 茶	3,604,680	2.4	-6.3
サ ー ビ ス	2,050,244	1.4	2.6
そ の 他	2,518,066	1.7	-7.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	4,136,847 千円	0.5 %
従 業 員 数	17,707 人	0.9 %
売 場 面 積	961,158 m ²	0.8 %

営 業 日 数	30.0	前年	30.0 日
---------	------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品、マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。
なお、化粧品・食料品は4か月連続プラス。紳士服・子供服が堅調で共に2か月ぶりに
プラスとなった他、大口需要の効果で家具も7か月ぶりプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.5	—	7か月連続マイナス
紳士服・洋品	1.0	0.1	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-3.3	-0.8	7か月連続マイナス
子供服・洋品	3.9	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	-3.0	-0.1	65か月連続マイナス
衣料品	-1.9	-0.7	7か月連続マイナス
身のまわり品	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
化粧品	5.9	0.3	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-14.4	-1.0	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.8	-0.2	2か月連続マイナス*
雑貨	-5.2	-0.9	2か月連続マイナス
家具	4.8	0.1	7か月ぶりプラス
家電	-9.0	-0.1	2か月連続マイナス
その他家庭用品	-1.5	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	-0.2	0.0	11か月連続マイナス
生鮮食品	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス*
菓子	4.7	0.2	4か月連続プラス*
惣菜	-0.1	0.0	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	3.9	0.2	3か月連続プラス*
食料品	2.4	0.4	4か月連続プラス
食堂喫茶	-6.3	-0.2	14か月連続マイナス
サービス	2.6	0.0	12か月連続プラス
その他	-7.4	-0.1	6か月連続マイナス
商品券	0.5	0.0	3か月ぶりプラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品に
ついての推移は2006年1月から細分化したため、2007年の4か月のみの推移